

- 2 今求められる協同労働の協同組合法
- 3 体に合わない窮屈な服を着て
- 4 こんな法律ができれば

広げたい！ たすけあい、 多様性を認め合える働き方

埼玉ワーカーズ・コレクティブ連合会清水悦子会長は、生協配送ワーカーズでの経験を経て、年齢を重ね業務がきつくなったと感じる仲間と、地域につながるワーカーズ「ミシンカフェ紬」を立ち上げました。ワーカーズ・コレクティブのすがすがしい働き方に思いを託します。



清水悦子会長

人生への意識の大転換

30代で配送を事業とするワーカーズの一員として働き始めた私は、それまでの「企業サービスをお金で買うお客様」から、「生協のサービスを提供する当事者」として、身の回りの商品や広告、様々なサービスの質やその要不要にも、提供する側としての興味と関心が湧くようになりました。更に自主運営自主管理を旨としたワーカーズ・コレクティブの働き方の概念に出会い、自分の人生も受身のお客様じゃつまらないんだ！と意識を大転換することになったのだと思います。

可能性を信じよう

配送ワーカーズを卒業し、志木市にミシンカフェをオープンして5年が経とうとしています。メンバー個々が介護や家族の健康問題、孫育てなど、待ったなしの最優先事項に直面しながらもそ

れを共有し支えあって持続してゆく事で、学びあい育ち会える日々を得ました。

いま、誰もの願いであると思っていた戦争のない世界が足元から脅かされつつあります。一人ひとりが生命の危機に怯えることなく平凡な毎日の一瞬一瞬を味わえることができなくなってしまったのか、肌寒いニュースに心が騒ぎます。

毎日の献立に悩み、親の介護に悩まされ、孫の世話に忙殺される平穏な毎日の大切さを実感しながら、その価値と知恵を次の世代につないでゆくにはどうしたらよいか。一人で思い悩むことなく、信頼できる面々と忌憚なく想いを共有し、行動につなげる場を持っている私たちの可能性を信じたいと思います。

この働き方を広げたい

開店から5年目に入る紬カフェには着実に訪れる人が増え、私たちの働き方への応援者を得ています。多様な人と共に仕事を作って働き学び合い育ち合う、奪い合わず持続可能な社会を目指す、女性本来の叡智を形にしたようなこんな健全で、すがすがしい働き方を広げていくよう行動していきたいです。そして是非とも法制化され、中学生なら知っていて当たり前の働き方にしていきたいものです。



ワーカーズ・
コレクティブ紬
090-8841-4658

志木駅から徒歩7分の場所に、仲間とともに居場所事業を立ち上げた。